

## 留学便り Ver.1

皆さんこんにちは。小石川11期生の吉田です。私は東京都が主催している次世代リーダー育成道場の7期生としてアメリカのアリゾナ州のフェニックスに留学しています。

小石川に入学する前から先輩方の留学便りを読んでいたので、今自分が留学便りを書いている立場にあることを非常に嬉しく思っています。この留学だよりを通して皆さんに少しでも留学のメリットや留学を通して得られるものを知っていただけたら幸いです。

この留学だよりでは私の留学生生活を3つのカテゴリに分けて紹介していきたいと思います。一つ目は精神面について、二つ目は学校生活について、三つ目は文化の面についてです。

### <精神面>

まず、留学する前まではかなりぼんやりとした、いつか留学するのだろうかあーというイメージくらいしかもっていませんでしたが、出発前日やアメリカでの事前研修を通して実感がわいてきたのでとても緊張していました。しかし、ホストファミリーと会った最初の夜に「間違いをたくさんしなさい。間違いをたくさんしてこそ成長するから。」と言われ、やれるだけのことをやってみようと思い、間違いを恐れず自信をもって行動できるようになりました。現地の高校に通いだしても様々なことにチャレンジしてとても充実した学校生活を送っています。また、一年間という限られた時間を賢く使うべきだなと感じました。今、ちょうどアメリカに来てから一か月が経ち、もう十分の一が終わってしまったのかと思うと「光陰矢の如し」ですね。いろいろな人の協力があって得られたアメリカでの生活。自分と向き合うために賢く使おうと思います。

### <学校生活>

私はフェニックスの North High School という公立の学校に通っています。



アメリカの高校教育と日本の高校教育の大きく違うところは一人ひとりが違う時間割を組めるところと四年制であるところからです。自分が学びたいことやレベルによってクラスを

選べるので同じクラスに高校三年生がいたり中学三年生がいたりします。

North High School では通常クラスに加え、Honors class(通常クラスよりも進度が早いクラス)、IB class (国際的な背景を持った人がとるクラス)、AP class (高校にいながらアメリカの大学の単位が取れるクラス) などがあります。私はIB Biology と Honors Calculus と AP World History をとっていて宿題もエッセイやリーディングがたくさん出て小テストもたくさんありますが、とても充実していて楽しいです。

アメリカではテストは期末テストしかなく、10%しか成績に反映されません。90%は授業態度と宿題を丁寧にやって期日までに出すといったようなことで評価されるので毎日気が抜けません。また、私は Student Government (通称: Stugo) というクラスを取っていて学校主催の催しものを取り仕切るなどの経験を通してリーダーシップを学んだりしています。毎週金曜日には赤と青のものを七個以上身に付けて登校するといった Stugo 独自の面白いルールもあって、とても楽しいクラスです。



#### <文化>

アメリカに来てから一番驚いたのは食文化です。現地のスターバックスに行ったのですが甘すぎて飲めなかったり、アメリカでの事前研修では毎食ハンバーガーだったり、心が折れそうになりました。しかし、幸いなことにホストファザーが中国人で以前シェフをしていた経験があり、毎日美味しいアジアのご飯が食べられているので家では一度もアメリカンな食事をしたことがありません。



また、気候は乾燥していて、とても暑いです。ここ最近では40度越えの毎日ですが、部屋の中は冷房が効いているので寒いぐらいです。

アリゾナはメキシコと近いのでメキシコ人がたくさんいます。英語とスペイン語を巧みに使い分けているのでとても刺激を受けます。



これは8月23日にスペインのフラメンココンサートに行った時の写真です。今まで生でフラメンコを見たことがなかったので新鮮で興味深かったです。ここアリゾナは様々な文化が混ざっている州です。毎日多様性を感じることができて刺激的な日々を送ることができています。

吉田

